

平成16年度経営構造対策事業計画評価表 (第5年度目)

都道府県名	石川県			施設整備	事業内容	実施(予定)年度	受益戸数	受益面積
市町村名	かほく市(宇ノ気町・高松町)				育苗施設	H12	640戸	560 ha
地区名	河北北部地区				高生産性農業機械	H14	87戸	100 ha
認定年度	H12	目標年度	H16		高生産性農業機械	H15	73戸	100 ha
					高生産性農業機械	H16	112戸	100 ha

1 全国共通目標

事項	計画時	目標	目標達成プログラム (上段:計画 中段:実績 下段:達成率)					達成状況 (評価)
			1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	
認定農業者の育成 (人)	24	63	32 23 -12.5	40 38 87.5	48 46 91.6	55 60 116.1	63 72 123.1	○
担い手への農地の利用集積 ha	550	817	(44.1) 600 (42.8) 583 66.0	(46.3) 630 (47.2) 642 115.0	(51.4) 700 (52.3) 712 108.0	(56.6) 770 (57.1) 777 103.2	(60.0) 817 (62.7) 853 113.5	○
遊休農地の解消 (ha)	0	0	0 0 100	0 0 100	0 0 100	0 0 100	0 0 100	○
地域提案目標 (項目:)								

2 地区選択目標

(1) 一般選択目標

	計画時	目標	目標達成プログラム (上段:計画 中段:実績 下段:達成率)					達成状況 (評価)
			1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	
新規就農者の育成	0	15	3 1 33.3	6 6 100	9 9 100	12 12 100	15 15 100	
加工グループ等の育成	2	4	2 2 100	3 3 100	3 4 200	3 4 200	4 4 100	
土地利用調整員育成	0	32	18 0 0	30 30 100	30 30 100	30 30 100	32 32 100	
人材バンクの設立	0	1	1 1 100	1 1 100	1 1 100	1 1 100	1 1 100	
組織の育成	1	5	1 2 皆増	2 6 500	3 7 300	5 8 175	5 9 200	

3 所見及び改善措置等

(1) 全国共通目標

認定農業者の育成

認定農業者制度のメリットを集落・農家が的確に理解できるよう、市町・農林事務所・JAの連携強化により集落・農家との対話を積極的に行った結果、認定農業者の登録者数は目標を上回った。

今後も、『新たな米政策』の推進と合わせ認定農家の育成を図るとともに、担い手の農地集積に重点をはかり活動を強化する。

また、関係機関との連携を深め担い手研修活動を強化する。

担い手への農地利用集積

今後も『新たな米政策』の推進と合わせ集落営農組織・認定農家の育成を図り農地集積面積の拡大を図れるよう、個別訪問・研修会等による活動を強化する。

遊休農地の解消

今後とも遊休農地の解消に努める。

施設等の利用状況及び担い手の受益割合について

育苗施設

育苗の箱数の減少は、平成13年度より米づくりの指導において、粗植・細植栽培を推進しており、10a当たりの苗箱使用箱数は、当初計画箱24箱/10aであったが実際の使用箱数は19箱/10aとなったことと、生産調整面積の割当拡大により水稻作付面積が減少したためである。

平成16年度利用箱数が増加したのは、生産調整の仕組みが変わり実質的な作付面積が増加したことと、作付目標面積の集落間調整を行ない、生産目標数量の99%以上の作付を行なったためである。

防除用無人ヘリコプター

アグリ指江営農組合平成14年度の稼働実績面積が目標面積を下回ったのは、オペレーターの運転未熟によるもので、平成15年度はほぼ100%、平成16年度は目標面積を上回る稼働率となり今後も安定した稼働率が期待できる。

かほくヘリ防除組合の導入機は、最新のGPSを搭載した機体であったため稼働面積は、初年度から目標面積を上回った。

平成16年度も計画的な防除が実施され、今後も安定した稼働率が期待できる。

また、ヘリの墜落事故防止のため安全対策を強化する。

(2) 地区選択目標

・新規就農者の育成

新規就農者等の情報を的確に捉え、市町・農林事務所・JAが連携し技術的・経営的指導に努める。

・加工グループ等の育成

市町・JAのイベント等で試食販売によるPR活動による販売の拡大推進を行うと共に衛生管理経営指導を強化し加工グループの育成を図る。

・土地利用調整員育成

市町村の農業委員会の土地利用調整員との連携を更に深め円滑な活動を図る。

・人材バンクの設立

現在は、専業農家(スイカ・大根・ぶどう)繁忙時の人夫斡旋活動は定着した。

今後、特殊技能者の発掘、登録者の増加をはかり人材バンクの強化に努める。

・組織の育成

16年度には『多田営農組合』の設立も含め9組織の育成ができた。

今後は、組織の経営指導及び農業の担い手集団としての組織強化を行う。

添付資料 1

都道府県経営・生産対策推進会議の所見

(1) 全国共通目標・地区選択目標

整備した育苗施設・無人ヘリの効率的な運営により全国共通目標及び地区選択目標全てにおいて最終年度の目標を達成することができた。

(2) 施設の利用状況

育苗施設については、品質向上対策として推進している粗植・細植栽培及び直播栽培の普及等により100%を達成することはできなかった。今後は、未利用者へ施設利用を促進し、100%の利用を図っていく必要がある。

添付資料 2 - 1

施設等の利用状況及び担い手の受益割合報告書

施設名	事業実施主体（管理主体）
育苗施設	石川かほく農業協同組合

1 利用計画に対する利用状況

		処理量 (単位：箱)	利用率 (単位：%)	達成状況
利用計画		(a) 134,400	100	
実績	平成13年度	(b) 111,666	(b)/(a) 83.1	
	平成14年度	(c) 111,059	(c)/(a) 82.6	
	平成15年度	(d) 105,027	(d)/(a) 78.1	
	平成16年度	(d) 113,674	(d)/(a) 84.5	

2 担い手の受益割合

		(2) (単位：ha) A	左のうち担い手の利用 (単位：ha) B	担い手の受益割合 (%) B/A	達成状況
利用計画		560	395	70.5	
実績	平成13年度	588	390	66.3	
	平成14年度	585	403	68.9	
	平成15年度	553	401	72.5	
	平成16年度	598	438	73.2	

添付資料 2 - 2

施設等の利用状況及び担い手の受益割合報告書

施設名	事業実施主体（管理主体）
防除用無人ヘリコプター	アグリ指江営農組合

1 利用計画に対する利用状況

		処理量（ 1 ） （単位：ha）	利用率 （単位：％）	達成状況
利用計画		(a) 200		
実績	平成14年度	(b) 151.6	(b)/(a) 75.8	
	平成15年度	(c) 199.3	(c)/(a) 99.7	
	平成16年度	(c) 214.8	(c)/(a) 107.4	

2 担い手の受益割合

		処理量（ 2 ） （単位：ha） A	左のうち担い手の利用 （単位：ha） B	担い手の受益割合 （％） B/A	達成状況
利用計画		200	200	100	
実績	平成14年度	151.6	151.6	100	
	平成15年度	199.3	199.3	100	
	平成16年度	214.8	214.8	100	

施設等の利用状況及び担い手の受益割合報告書

施設名	事業実施主体（管理主体）
防除用無人ヘリコプター	かほくヘリ防除組合

1 利用計画に対する利用状況

		処理量（ 1 ） （単位：ha）	利用率 （単位：％）	達成状況
利用計画		(a) H15 200 H16から 400		
実績	平成15年度	(b) 209.8	(b)/(a) 104.9	
	平成16年度	(c) 408.4	(c)/(a) 102.1	
	平成 年度	(d)	(d)/(a)	

2 担い手の受益割合

		処理量（ 2 ） （単位：ha） A	左のうち担い手の利用 （単位：ha） B	担い手の受益割合 （％） B/A	達成状況
利用計画		H15 200 H16から 400	H15 200 H16から 400	100	
実績	平成15年度	209.8	209.8	100	
	平成16年度	408.4	408.4	100	
	平成 年度				